

科目	健康支援と保健活動				
時間数	2単位 30時間	授業方法	講義	授業時期	2年
講師名	①高橋美由紀				
実務経験	①保健師(訪問看護ステーション等)				
ねらい	1. 保健・医療・福祉の基礎的な知識を深め、他種職との連携・調整の必要性を理解する。 2. 個々に捉われず、社会の集団としての健康管理の必要性を理解する。 3. 保健衛生に関する諸法規の概要を理解する。				
目標	1. 衛生行政、衛生統計、健康教育等を学び、社会資源を活用できる能力を身につけることができる。 2. 社会全体の健康生活を支える保健・医療・福祉の知識を深め医療従事者として協働する必要性を理解し、行動できる。				
授業計画					
回	内容				
1～3	1. 公衆衛生の理解				
	2. 人口と公衆衛生 (1) 人口の動態 (2) 保健統計				
4～6	3. 環境・食と公衆衛生				
	4. 疾病の疫学と予防(感染)				
7～15	5. 保健行政、健康教育				
	6. 公衆衛生活動の実際 (1) 母子保健 (2) 学校保健 (3) 地域保健 (4) 産業保健 (5) 老人保健 (6) 精神保健、難病、障害				
評価方法	その時間数の3分の2以上の出席者に限り受験資格を与える。 筆記試験 60%、レポート 10%、ルーブリック評価 30%を総合して評価する。 60点以上を及第点とする。				
教科書	国民衛生の動向:厚生統計協会 健康支援と社会保障制度②公衆衛生:医学書院				